

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナック

コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 黒木 一孝

TEL 03-3346-2111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	9,818	21.4	△217	—	△218	—	△346	—
21年3月期第1四半期	8,085	—	△476	—	△473	—	△835	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△42.57	—
21年3月期第1四半期	△101.18	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	19,254	7,161	37.2	881.18
21年3月期	18,139	7,660	42.2	942.57

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 7,161百万円 21年3月期 7,660百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	18.00	—	20.00	38.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	23,400	15.3	330	453.1	340	408.5	△180	—	△22.15
通期	50,000	7.3	1,600	14.4	1,620	14.5	600	246.8	73.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	9,359,625株	21年3月期	9,359,625株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,231,955株	21年3月期	1,231,880株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	8,127,711株	21年3月期第1四半期	8,255,218株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想については、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいて作成しておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。業績予想に関連する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、昨年秋口以降の最悪期を脱し、景気は一部に持ち直しの動きも見られますが、設備投資や雇用情勢は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、収益責任の明確化を目的として設置した4事業本部体制の下で、積極的な事業活動を展開してまいりました結果、当第1四半期の連結業績は、売上高9,818百万円（前年同期比21.4%増）、営業損失217百万円（前年同期営業損失476百万円）、経常損失218百万円（同経常損失473百万円）、四半期純損失346百万円（同四半期純損失835百万円）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

## 〈レンタル事業〉

急速な消費低迷の影響を受け、前期後半以降、主力のダストコントロール商品について新規顧客獲得の不調が続き、売上高2,719百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益357百万円（同22.3%減）となりました。

市場環境は依然低迷状態が続いておりますが、地道な「ドア・ツー・ドア」の訪問販売営業の徹底、キャンペーン実施による販売促進活動の強化等が奏功し、当四半期は顧客数が純増に転じる等、売上は徐々に回復傾向にあります。

## 〈建築コンサルティング事業〉

新商品投入や「お客様相談室」設置による顧客サポートの強化を図り、売上回復に努めましたが、長引く市況低迷の影響から、売上高599百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

利益面につきましては、営業拠点の一部統合等による固定費圧縮が寄与し、営業利益156百万円（同12.4%増）となりました。

## 〈ボトルウォーター事業〉

顧客数の堅調な増加に支えられ、売上高1,695百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

販売促進費等の先行投資により、営業損失67百万円（前年同期営業損失36百万円）となりましたが、概ね予定通りの進捗状況にあります。

住之江プラントでボトルウォーター業界では初めてとなるHACCP（食品衛生管理手法の国際規格）の認証を取得したほか、6月より、「クリスタルクララ」のテレビCM放映を開始する等、事業基盤の強化と収益の拡大に向けた積極的な取り組みを実施してまいりました。

なお、松戸市及び町田市の新プラントは、第2四半期より量産開始の予定であります。

## 〈住宅事業〉

売上高4,805百万円（前年同期比54.6%増）、営業損失445百万円（前年同期営業損失836百万円）となり、赤字幅が縮小いたしました。

戦略商品として5月より発売を開始したソーラーシステム搭載住宅は、受注棟数に占める割合が約40%に達する等、順調な推移を示しております。

なお、地域別の戦略策定や連携強化、業務効率の向上を目的として、複数の支店と営業所で構成する商圈単位のユニット制に営業組織の改編を行いました。

また、静岡県内4店目の富士営業所開設により、総店舗数は34店舗となりました。

（注）上記に記載されている金額には消費税等は含まれておりません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の分析

当第1四半期末の総資産は、たな卸資産の増加、ボトルウォーター事業等の設備投資による有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ1,114百万円増加しました。

負債総額は、住宅事業における未成工事受入金及び借入金の増加により前連結会計年度末に比べ1,613百万円増加しました。

純資産は、配当金の支払、四半期純損失等により前連結会計年度末に比べ499百万円減少しました。

## (2) キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金という」）残高は、前期末に比べ637百万円減少し3,038百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、437百万円となりました。これは主に未成工事受入金の増加により資金が1,360百万円増加しましたが、税金等調整前四半期純損失224百万円、たな卸資産の増加1,245百万円、法人税等の支払218百万円、売上債権の増加235百万円等の資金減があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、323百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得409百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得た資金は、122百万円となりました。これは主に長短借入金が増加290百万円等と配当金の支払い162百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、上記のとおり期初計画の範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成21年5月15日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 固定資産の減価償却費の算定方法は、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。  
なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 一般債権の貸倒見積高の算定方法は、貸倒実績率等が前連結会計期間に算定したものと著しい変化が無いため、前連結会計期間に算定した貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。
3. 債務保証の損失発生実績率等が前連結会計期間に算定したものと著しい変化が無いため、前連結会計期間に算定した損失発生実績率を使用して債務保証の損失発生見積高を算定しております。
4. 棚卸資産の評価方法に関しては、棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。
5. 法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、重要な企業結合や事業分離、業績の著しい好転又は悪化、その他経営環境に著しい変化が生じ、又は、一時差異等の発生状況について前年度末から大幅な変動があると認められる場合には、繰延税金資産の回収可能性の判断にあたり、財務諸表利用者の判断を誤らせない範囲において、前年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、当該著しい変化又は大幅な変動による影響を加味したものを使用しております。
6. 経過勘定項目の算定方法は、固定的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額を計上しております。
7. 連結会社相互間の債権債務及び取引は、取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## 会計処理基準に関する事項の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分についての成果の確実性が認められる工事（工期がごく短期間のを除く）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末においては工事進行基準を適用しているものがないため、これによる売上高、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

また、セグメント情報に与える影響もありません。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,101,776	3,739,998
受取手形及び売掛金	1,016,684	780,682
商品及び製品	754,145	687,894
未成工事支出金	2,093,512	1,009,878
原材料及び貯蔵品	153,551	57,812
その他	1,269,635	1,335,505
貸倒引当金	△11,706	△3,766
流動資産合計	8,377,598	7,608,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,038,812	3,496,698
土地	3,039,032	3,039,032
その他(純額)	462,595	652,203
有形固定資産合計	7,540,440	7,187,934
無形固定資産		
のれん	120,916	97,153
その他	119,496	126,563
無形固定資産合計	240,413	223,717
投資その他の資産		
差入保証金	2,131,955	2,160,304
その他	1,325,777	1,282,380
貸倒引当金	△361,501	△322,376
投資その他の資産合計	3,096,231	3,120,308
固定資産合計	10,877,085	10,531,960
資産合計	19,254,684	18,139,966

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,342,449	2,194,239
未成工事受入金	3,278,402	1,918,201
短期借入金	2,079,800	1,661,150
未払法人税等	63,649	247,475
賞与引当金	315,754	567,704
引当金	110,390	118,417
その他	1,917,466	1,755,543
流動負債合計	10,107,911	8,462,731
固定負債		
長期借入金	1,795,900	1,924,550
その他	188,930	91,697
固定負債合計	1,984,830	2,016,247
負債合計	12,092,742	10,478,978
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	794,220	794,220
利益剰余金	5,345,628	5,854,201
自己株式	△1,661,075	△1,661,013
株主資本合計	8,478,773	8,987,408
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,552	9,963
土地再評価差額金	△1,336,384	△1,336,384
評価・換算差額等合計	△1,316,831	△1,326,420
純資産合計	7,161,941	7,660,987
負債純資産合計	19,254,684	18,139,966

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	8,085,489	9,818,718
売上原価	4,467,186	5,797,240
売上総利益	3,618,302	4,021,477
販売費及び一般管理費	4,094,876	4,239,101
営業損失(△)	△476,573	△217,623
営業外収益		
受取利息	795	779
受取配当金	4,579	5,274
受取地代家賃	3,600	2,885
受取手数料	5,510	3,809
その他	7,485	5,506
営業外収益合計	21,969	18,255
営業外費用		
支払利息	10,122	14,949
減価償却費	3,780	3,230
その他	4,543	1,264
営業外費用合計	18,445	19,444
経常損失(△)	△473,049	△218,812
特別損失		
固定資産処分損	1,289	6,006
特別損失合計	1,289	6,006
税金等調整前四半期純損失(△)	△474,338	△224,819
法人税、住民税及び事業税	51,801	49,042
法人税等調整額	309,142	72,156
法人税等合計	360,943	121,199
四半期純損失(△)	△835,282	△346,018

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△474,338	△224,819
減価償却費	97,660	115,713
のれん償却額	22,017	11,097
固定資産処分損益 (△は益)	1,289	6,006
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,647	47,064
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△242,536	△251,950
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,300	△800
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△13,113
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	3,873	5,886
受取利息及び受取配当金	△5,374	△6,053
支払利息	10,122	14,949
売上債権の増減額 (△は増加)	262,581	△235,999
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	8,080	△36,608
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,032,961	△1,245,624
仕入債務の増減額 (△は減少)	△371,714	148,210
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,106,625	1,360,201
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△85,907	△51,829
その他	99,227	145,116
小計	△588,408	△212,553
利息及び配当金の受取額	5,388	9,298
利息の支払額	△11,120	△15,421
法人税等の支払額	△870,728	△218,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,464,868	△437,304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,300	△3,600
定期預金の払戻による収入	3,000	4,100
有形固定資産の取得による支出	△1,183,960	△409,712
有形固定資産の売却による収入	—	105,000
無形固定資産の取得による支出	△580	△34,860
貸付金の回収による収入	844	860
差入保証金の差入による支出	△32,722	△8,490
敷金及び保証金の回収による収入	10,482	25,080
その他	△1,765	△1,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,208,001	△323,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	812,700	168,200
長期借入れによる収入	890,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△46,600	△78,200
リース債務の返済による支出	—	△4,575
自己株式の取得による支出	△56	△62
配当金の支払額	△136,808	△162,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,519,236	122,690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,153,633	△637,722
現金及び現金同等物の期首残高	2,609,474	3,675,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,455,841	3,038,272



## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	レンタル事業 (千円)	建築コンサルティング事業 (千円)	ボトルウォーター事業 (千円)	住宅事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,811,518	756,840	1,409,411	3,107,718	8,085,489	—	8,085,489
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	24,384	—	108	—	24,492	△ 24,492	—
計	2,835,903	756,840	1,409,519	3,107,718	8,109,981	△ 24,492	8,085,489
営業利益又は営業損失(△)	460,861	138,952	△ 36,267	△ 836,058	△ 272,511	△ 204,061	△ 476,573

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	レンタル事業 (千円)	建築コンサルティング事業 (千円)	ボトルウォーター事業 (千円)	住宅事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,719,388	599,005	1,695,113	4,805,210	9,818,718	—	9,818,718
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	131	—	122	—	253	△ 253	—
計	2,719,519	599,005	1,695,235	4,805,210	9,818,972	△ 253	9,818,718
営業利益又は営業損失(△)	357,907	156,180	△ 67,292	△ 445,015	1,780	△ 219,404	△ 217,623

## (注) 1. 事業区分の方法

事業は製品の種類及び市場の類似性を考慮して区分しております。

## 2. 各区分に属する主要な商品及び役務

レンタル事業……………ダストコントロール商品

建築コンサルティング事業……建築関連ノウハウ商品及びコンサルティング業務

ボトルウォーター事業……………ボトルウォーター（ミネラルウォーター）

住宅事業……………注文住宅の建築請負

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

## 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間において、海外売上高がないため該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## (1) 受注の状況

事業の種類別 セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	当第1四半期 平成21年4月1日～ 平成21年6月30日	前第1四半期 平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	当第1四半期 平成21年6月30日現在	前第1四半期 平成20年6月30日現在
住宅事業	6,294,197	5,262,589	15,008,207	15,043,082